

Museum Talk

2021-2022 オンライン ミュージアムトーク

ハンセン病問題にまつわる様々なお話をご用意しました。
ふだん聞く機会の少ないテーマにふれてみませんか。
冬晴れが心地よい季節、資料館からオンライントークをお届けします。

Zoom
ライブ

2021.12.18 sat. 14:00-
西浦直子（国立ハンセン病資料館学芸員）
隔離のなかの食

隔離政策下の療養所では、食材の生産や配食は患者作業によって行われていました。一方で、食は生命維持と回復の手立てとしてだけでなく、味覚や嗅覚が侵されることの少ないハンセン病患者・回復者にとって数少ない、切実な喜びでもありました。この回では、食をめぐるしくみの変遷や、食を通して垣間見える患者・回復者の思いについて、館蔵資料などを通してお伝えします。

Zoom
ライブ

2022.2.19 sat. 14:00-
鈴木陽子（沖縄愛楽園交流会館学芸員）
美粧院を立ち上げた愛楽園の婦人会

1938年の開園以来、愛楽園の女性たちは表だった意思表示を控えてきました。1950年前後、愛楽園の文芸作品は新たな沖縄文壇に登場し、園の女性たちも歌や俳句の会で男性たちと並び立ちました。そのような中で女性たちは婦人会を結成し、美粧院を立ち上げました。隔離政策下の戦後の愛楽園自治の中で、女性たちがどのように美粧院を手に入れ、経営したのかをたどります。

Zoom
ライブ

2022.3.26 sat. 14:00-
斉藤聖（国立ハンセン病資料館図書室職員）
図書室からの招待状 ～頁をめくり、想いを辿る～

国立ハンセン病資料館には図書室があることをご存じですか？主にハンセン病に関する図書を収集、保存し公開する取り組みを行っています。今回のミュージアムトークでは、多磨全生園入所者自治会が運営していたハンセン病図書館から続く図書室の成り立ちや収蔵資料の一部をご紹介します。どのようなサービスを行っているのかをお話しします。

国立ハンセン病資料館

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13
TEL 042-396-2909
FAX 042-396-2981
URL <https://www.nhdm.jp/>



各回**13:45**よりWeb開室（15:30終了予定）
事前申込制・各回定員**100**人（申込先着順）
当館公式Webサイトよりお申込みください
（登録後に参加URLをご案内します）

※事情により日程・講師・演題などを変更することがあります
詳細は当館Webサイトをご覧ください